

命をつなげ！はちぼうスクール！ ～八王子市を学生防災の先進都市へ～

Save Our Lives! HACHIBO University!
- Make Hachioji advanced city of disaster prevention by students -

チーム マーガレット

餘戸春乃, 武田幸江, 宮高萌碧, 吉田由美

指導教員 水元昇

創価女子短期大学 国際ビジネス学科 水元研究室

キーワード：学生防災, 防災イベント, 災害, 学園都市, 地域一体

1. はじめに

近年、東日本大震災や豪雨等の災害を経て、日本国内での防災意識はそれ以前に増して向上している。八王子市でも、市制100周年記念事業ビジョンフォーラムの第7回・安全安心フォーラム「未来へつなぐ安全安心のまち」にて防災をテーマに講演やパネルディスカッションが行われたり、都市づくりビジョン八王子の目指すべき20年後の7つの都市ビジョンにビジョン7（災害対応力強化・地域の安全安心）が存在したりと「防災・減災」の重要度は高いことが伺える。しかしながら、防災活動に参加する大半が高齢者であり、未来へ命をつなぐ鍵である学生の自主的な防災活動参加率は低い。

そこで今回は学園都市八王子ならではの学生防災についての企画提案をおこない、八王子らしい防災の実現を目指す。

2. 現状分析

今日防災に対する重要視は高まっているものの若年層の防災活動の参加率が低いのが現状である。東京消防庁側から見た防火防災訓練への働きかけの課題によると、「参加者の高齢者率が高い」「若い世代は、マンション等に住んでおり町会・自治体に入っていないことが多い、若い世代の参加率が低い」「町会・自治体に入っていない住民に対する働きかけの手段が乏しく、手段が限られている」という3点が挙げられている。これらの原因について

ではこれまで町会や自治体への働きかけをメインに行ってたためにそれらに加入していない若い世代に防火防災訓練の必要性や実施情報が届いていない可能性や、若い世代や自治体未加入者に対する働きかけの不十分さが考察されている[1]。

加えて、先日の台風19号では私たち自身が避難を経験することによって、警報情報・避難所情報の錯綜や、大学外のコミュニティと疎遠であることを身をもって実感した。

以上のように現段階の防災活動において、「若い層の防災イベントの参加率が低いこと」「一人暮らしの学生等地域コミュニティに入りづらいひとへの働きかけ」という課題が挙げられる。それらを踏まえ、私たちは以下の提案を行う。

3. 企画提案

わたしたちの提案は「八王子市役所・大学コンソーシアム八王子・大学コンソーシアム八王子加盟校が連携してひとつの学生主体型防災イベントを企画・開催する」という提案である。

まず、年1回の開催を想定して大学コンソーシアム加盟校学生を中心に八王子市役所と大学コンソーシアム八王子で学生向けの1つの防災イベント「はちぼうスクール」（はちぼうの意味：八王子防災）を企画する。各大学の特色も出しながら学生視点の防災イベントを開催する。

本企画を実施することで考えられる利点は3点ある。1点目は学生の目線で企画を考えられると

いう点である。大学コンソーシアム八王子の趣旨と同様に行政にはない学生当事者の意見を取り入れることで若年層の参加率を高めることができる。2点目は企画側の学校に参加を呼びかけやすいという点である。各校の学生が主催ということであれば該当校の学生自身も身近に感じて参加率が上がる1つの理由になるとえた。3点目は企画者・参加者含め新たな地域コミュニティができるという点である。学園都市という特性上地域コミュニティに入りづらい一人暮らしの学生が多いため、町会、自治体に代わる学生にとって新たな拠り所となる地域コミュニティが形成できる。

また「はちばうスクール」の企画学生同士で防災への考え方や課題等意見交換をし、行政に伝えられる場も設けたい。

先行事例として、京都府の大学生消防防災サークル支援事業「京都学生 FAST」を挙げ 図1京都学生 FAST 出典:京都府HP。京都府では、学生のまちという特色を生かして平成26年度から大学生消防防災サークル支援事業「京都学生 FAST」をスタートしており、京都府内の大学・短期大学等を対象に、大学生による消防防災サークルの立ち上げ・活動をサポートしている。活動内容としては府団消防団との交流や地域防災訓練への参加、防災啓発イベント等があり、また、京都学生 FAST の取組は、消防署、消防団、行政機関、NPO、大学等の関係機関と連携して「京都学生 FAST 防災ネットワーク」を形成している等、独自のコミュニティも形成している。効果としては、例を挙げると直接消防団の活動を肌で感じることでイメージが変わって入団する学生が少しずつ増える等、長期的な展望で一定の効果が期待されており、FAST の事業内容も少しずつ増えている[2]。

以上のことから、本企画「はちばうスクール」を施行することにより、先述した防災活動に対する課題3点の解決が期待できると考える。



4. おわりに

私たちは都内外の防災施設、防災のために活動する法人団体の訪問を通して「命を未来につなぐためには地域の人同士のつながりが欠かせない」ということ、「今このときに被害を最小限にするために防災の第一線に立つべきなのは、いざというときに判断を促される大人であり、なおかつ活力ある若い世代なのではないか」ということの二点を強く感じるようになった。

また今回の提案は、はちばうじ学園都市ビジョン内の基本方針1「地域連携支援」と基本方針3「学生活動支援」にあてはまると考えている。学生が中心となって防災に取り組む街を作ることで、八王子市を未来へ命をつなぐ「学生防災の先進都市」にしたいと強く願い、本企画を提案する。

5. 参考文献・訪問先

【参考文献】

[1] 火災予防審議会「地域特性等を踏まえた防火防災訓練のあり方」

<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/kk/pdf-data/22k-st-all.pdf>

[2] ・図1 京都府HP「大学生消防防災サークル支援事業「京都学生 FAST」」

<https://www.pref.kyoto.jp/shobo/kyotogakusei/fast.html>

【訪問先】

- ・池袋防災館(豊島区)
- ・東京臨海広域防災公園そなエリア東京(江東区)
- ・立川防災館(立川市)
- ・東日本大震災復興支援イベント STAND UP SUMMIT2019(江東区)
- ・第6回避難訓練コンサート(八王子市)
- ・人と防災未来センター(兵庫県神戸市)
- ・特定非営利活動法人 シーズネットワーク(多摩市)
- ・特定非営利活動法人 防災・災害ボランティアかわせみ(八王子市)